

第13回職場活動家交流集会

組織拡大は新採行動から通年闘争へ

国労水戸

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 塚原良雄
編集責任者 坂下 司

仲間の経験に学ぼう

6月5日、大洗において第13回職場活動家交流集会を開催した。埴副委員長が司会を務め、委員長あいさつ、来賓あいさつ、地本から6点について提起、仙台地本から報告を受けて、40名の参加者で交流が行われました。

塚原委員長より一年を振り返り、成果と総括を積み上げ、自信を持って国労に入れと、お互いに関

連しようとい挨拶がありました。東本部長佐藤書記長より春闘の情勢報告、関連会社の労働条件



全組合員で組織拡大に関わろう

加入したいと報告がありました。仙台地本原子書記長の経緯について報告がありました。新採の取り組みでは組合説明会の開催、飲み会で職場の問題点、他労組を含めて

アンケート調査を行い、会社と交渉し改善点を返す運動をしている。関連会社では組合加入者が少ない。組合費の負担、労働条件改善について学習会が必要と報告がありました。



改善、安全・安定輸送の課題について。東京地裁においてトラック運転手の再雇用での賃下げは違法と、エルダー制度が労働契約法20条に

結びつき
つながり生かして
大胆に
国労加入を
断えよう！



昨年、国労に加入した郡山電気技術センターの佐藤拓美さんより、平成9年に入社して国労の先輩たちに仕事を教えてもらい、休日にも仲良くしてもらい。会社で物を言う国労の人たちを見て加入を決めた。若手社員を



今後生かせるか検討していくと挨拶がありました。

関連会社のA君より会社から組合に入るなど言われる。同期の結束は強いが若手だけでは問題は解決しない。先輩たちの力を借りて組織拡

大に協力したいと言がありました。各分会から新採行動、リストアップを今後どうつなげていくのか意見交流を行いました。

書記長まとめ

数年前を振り返って見た時、合理化、差別・選別の場であり、一括和解以降で組織拡大に取組むようになった。当時は国労に入ると、可哀想と話していた。我々の意識も変化してきて、結果を出すためにどうするか。厳しい現実はあるが国労に入ってくださいと変わってきています。

各級機関に持ち帰り議論を深め、班、回りの仲間を広めていただきたい。

佐藤さん、仙台地本書記長の経過、報告から気づかされたことは、諦めず継続していくことだと確認できた。現在JESS対策委員会では何を残していくのか議論されています。国鉄分割・

